

2024학년도 중등학교교사 임용후보자 선정경쟁시험

일본어

수험 번호 : ()

성 명 : ()

제1차 시험	2 교시 전공 A	12문항 40점	시험 시간 90분
--------	-----------	----------	-----------

- 문제지 전체 면수가 맞는지 확인하십시오.
- 모든 문항에는 배점이 표시되어 있습니다.

※ 답액은すべて日本語で書くこと.

1. 次は2022改定日本語教育課程についての教師たちの会話である。(a)と(b)に入ることばをそれぞれ書きなさい。[2点]

教師A: 2022改定日本語教育課程の「内容体系」は、「核心アイデア」を中心として、領域別に「知識・理解、過程・技能、価値・(a)」といった3つの範疇で構成されていますね。

教師B: そうですね。「核心アイデア」というのは、学習者が教科内容を自分の生活と関連づけ、いろんな教科から学ぶ内容をつなげて、新しいアイデアを創り出せる出発点となるものだそうです。

教師A: 教科の垣根を越えて、いろんな教科を横断する核となるアイデアとも言えますね。「価値・(a)」にはどんなことが提示されていますか。

教師B: これは教科活動を通して育てられる固有のもので、例えば「文化」領域の「価値・(a)」には、「日本文化に対する好奇心、日本文化の(b)に対する認識と包容、相互文化的観点の認知」といった内容が提示されています。また「文化」の成就基準には、「文化の(b)と違いを認め、韓国人と日本人が志向する価値を互いに理解し尊重しながら日本文化について調査をし、まとめた内容をオン・オフラインで発表・討論して、資料や意見を共有する」という記述もあります。

教師A: あ、この間、日本の高校生とオンライン会議システムを使って、韓国と日本の訪問時のマナーについてグループで調べ、まとめたものを発表させて、話し合いをするという授業をしたんですが、これも相互文化的観点の認知という「価値・(a)」を育てることにつながっているんですね。

2. 次は韓国人と日本人の友人同士の会話である。下線部①とともに一般的に現れる非言語行動を書きなさい。また、下線部②に関わるあいさつ表現を<条件>に従い書きなさい。[2点]

香里: 何にする?
 ユナ: 私、お蕎麦にするよ。香里さんは?
 香里: 私は、とんかつにするね。
 …(中略)…
 ユナ: わあ、食べよう、食べよう。
 香里: ユナさん、ちょっと待って。
 日本ではね、食事の前に「いただきます」って言うの。
 ユナ: あっ、いただきます!
 香里: ①いただきます。
 ユナ: あのう、ちょっと話が変わるんだけど。
 香里: うん、何?
 ユナ: この前お目にかかったおばあさま、お元気?
 香里: それが…。②亡くなったの…。
 ユナ: ああ、そう…。大変だったわね…。

<条件>

- 齋場で遺族に対してかけることばを書くこと。

3. 次の会話文の下線部①～④から不自然なものを2つ選び、それぞれ自然な表現に直しなさい。[2点]

佐藤：ごめんください。
山田：はい、どうぞ。
佐藤：この間は、いろいろとお世話になりました。ありがとうございました。
山田：いえいえ、こちらこそありがとうございました。
...(中略)...

山田：佐藤さん、コーヒーと紅茶、どちらが好きですか。
佐藤：コーヒーの方が好きです。
山田：じゃ、コーヒーいれますね。
佐藤：あ、すみません。
山田：佐藤さん、普段、紅茶は召し上がらないんですか。
佐藤：たまには飲みますが、①コーヒーぐらい好きじゃありません。
山田：ああ、そうですか。
...(中略)...

佐藤：あ、写真がありますね。この方、ご友人ですか。
山田：いえ、②6つ上の先輩です。
佐藤：お若く見えますね。
山田：そうですよね。ところで、佐藤さん、テニスされますか。
佐藤：ええ、何度か③したときがあります。
山田：じゃ、今度一緒にいかがですか。
佐藤：ええ、ぜひ④一緒にさせてください。
あ、もうこんな時間。そろそろ失礼しますね。
山田：あ、そうですか。またお越しください。
佐藤：今日は本当にありがとうございました。⑤おじゃましました。

4. 次の(①)に入る作家名と下線部②に該当する文学ジャンルをそれぞれ書きなさい。[2点]

最近、日本ではハイカルチャーに属するとされてきた文学が積極的にサブカルチャーに利用される現象が生じている。例えば、『文豪とアルケミスト』というゲームは、プレイヤーがアルケミストとして、実在する文豪をモデルにしたキャラクターを収集・強化し、敵と戦って勝利することを目標にしたブラウザゲームである。そこに登場する作家の中には、労働者の過酷な実態を描き、労働者の意識向上を目指したプロレタリア文学者もいる。特に『蟹工船』を書いた(①)は、再脚光を浴びた作家として有名であり、2008年の新語・流行語大賞では、『蟹工船』がトップ10に選ばれた。

また、作家をマンガの主人公として描いた『文豪ストレイドッグス』は、若い女性から大人気を得た。太宰治、江戸川乱歩といった文豪がキャラクター化され、彼らの作品やペンネームなどの名を冠した異能力を用いて戦うアクションマンガである。

さらに、②アニメやマンガ風のイラストを表紙や挿絵に多用し、登場人物のイメージと世界観が固定化されて物語が展開するジャンルが登場した。キャラクター描写を中心に据え、マンガのノベライズのように作られている。その内容は、恋愛、SF、ファンタジー、ミステリー、ホラーなど様々である。読者は若年層が多いものの、その対象年齢は拡大している。

5. 次の下線部④を漢字に直しなさい。また、下線部⑤を日本語に訳しなさい。さらに、下線部③の1例として本文中に挙げられたものを<条件>に従い書きなさい。[4点]

蝦夷地から九州までをつなぐ④ひきやくのネットワークは、徳川の世になり、平和が続くなかで整っていった。とりわけ江戸と京都・大阪を結ぶ便が盛んで、特別仕立てで人を交代して走らせれば4日で着いた。しかし、これはかなり高くつく。

よく使われたのが定期の早便で、馬を歩かせ運ばせた。かかる日数は値段により、6日、7日、8日……と色々あったという。今は昔と違っていたら、そうでもないようだ。現代の郵便事情からすれば。

今年の大型連休中の普通郵便は、ポストに入れてから届くまで最長8日かかる場合もある。そんな記事が先日の紙面にあった。もともと土曜の配達是人件費抑制のため昨年秋にやめている。連休が重なり、④ひきやくなみのテンポとなった。

必着期日のある郵便にはご注意を、と日本郵便は呼びかけているという。EメールやSNSの時代に郵便の量は減るばかりだ。インターネットは暮らしを便利にしているが、隙間も生まれる。

映画ネット配信サービスは、⑤여기저기에 있던 비디오 대여점을 일소해 버렸다. 보고 싶은 작품이 있다 하더라도 자신이 가입한 회사가 전송을 그만두면 두 손 두 발 다 들어야 한다.

④ひきやくの時代には、馬が不足して運送に支障が出るのを「馬支(うまづかえ)」、河川が増水して渡れなくなるのを「川支(かわづかえ)」と言った。③ネット時代にも様々な「つかえ」はなくならないようだ。

朝日新聞「天声人語」より改変

<条件>

○ 本文から抜き出した語を組み合わせ、漢字3文字で造語すること。

6. 次は教師と日本語学習者との会話である。下線部①～⑤のあいづち表現から不適切なものを1つ選び、適切なあいづち表現に直しなさい。また、その理由を<条件>に従い説明しなさい。[4点]

学生：先生、それ何ですか。
 教師：あ、これ？私の地元のキャラクターの人形。
 学生：ああ、①そうですね。
 教師：たまねぎの「たまちゃん」っていうの。
 学生：初めて見ましたが、とってもかわいいですね。私人形が大好きなんですよ。
 教師：②うんうん。
 学生：それで、家にいっぱいあるんです。100個ぐらいかな。
 教師：③へえ。すごい!
 学生：かわいいと、つい買ってしまおうので。
 教師：④そうそう。
 学生：あ、先生もですか。
 教師：100個もないけどね。でも、20個ぐらいはあるかな。
 学生：⑤そうですか。

<条件>

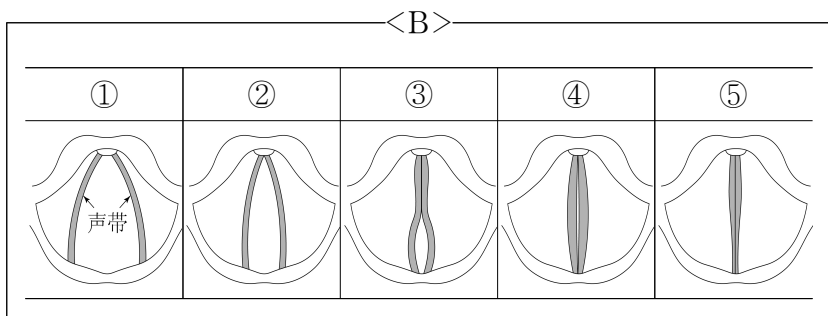
○ 選んだあいづち表現が不適切な理由と、直したあいづち表現が適切な理由を書くこと。

7. 次の<A>の(㉑)に入ることばを書きなさい。また、下線部㉒の声門の状態をから1つ選びなさい。さらに、その音がどのような環境で起こるか、下線部㉓の2例を用いてそれぞれ説明しなさい。[4点]

<A>

子音を調音音声学的観点から分類する際には、音源、調音法、調音位置の3点からまとめられる。音源とは、声帯(㉑)の有無によって、(㉑)を伴えば「有声音」、(㉑)がなければ「無声音」という。日本語の子音には有声音と無声音の区別がある。これに対し、母音はすべて有声音であり、その音色の違いは口の開きや舌の前後の位置によって作り出される。

日本語の共通語では、「キシヤ(汽車)」「コクサイ(国際)」「いつか」の下線部の母音が㉒ささやきの音のようになることがしばしばある。そのほかに、㉓「～ます」「アキ(秋)」などにおいても同様の現象が見られる場合がある。



8. 次の文章を読み、(㉑)と(㉒)に入ることばを書きなさい。また、下線部㉓の特徴を4つ書きなさい。[4点]

現代日本語に用いられる文字には、ひらがな、カタカナ、漢字などがある。一般的に文字というものは、それが音を表すか、意味を表すかによって、(㉑)と(㉒)に分けられることはよく知られている。(㉑)とは、音のみを表し、直接には意味と関係しない。このような文字では、同じ音は原則として同じ字母か、ごく限られた複数の字母で表される。それに対して(㉒)とは、漢字の「一・二・三」のような文字で、1字1字が意味と対応している。(㉒)も、文字であるからには一定の音的単位と結び付いているが、意味との関係が基本なので、音が同じでも意味が異なれば原則的に別の文字を用いる。

どのような言語がどういう文字を用いているかを理解するためには、1字1字がいかなる言語的単位を表しているかに注目する必要がある。そういう観点からは、「㉓音素文字」「音節文字」「表語文字」のように分けることができる。

9. 次の<A>の(㉠)に入ることばを書き、これに該当しないものをの①~④から1つ選びなさい。また、<A>の(㉡)に入る説明を<条件>に従い書きなさい。[4点]

<A>

(㉠)とは、第二言語を用いて教科を教えることで、特別に指導を受けなくても第二言語が習得できるようにするプログラムのことである。算数・数学、理科、社会などの教科を目標言語で教え、文字通り、目標言語に「浸らせる」。すなわち、目標言語を教科学習のツールとして計画的に使用することによって、各教科の内容とともに第二言語も習得されるというものである。このプログラムには、(㉡)によって様々な種類がある。

- ① 最初から一部の授業のみ第二言語で行うもの。
- ② クラス内で少数派に当たる学習者の第二言語で行うもの。
- ③ 中等教育(日本では中・高等学校)の段階で開始するもの。
- ④ 最初はすべての授業を第二言語で行い、順次その割合を減らすもの。

<条件>

- 分類の基準を2つ書くこと。

10. 次の<A>はキムさんとパクさんの日本語学習の状況であり、は<A>についての教師たちの会話である。(㉠)に入ることばを書き、その完成時期を書きなさい。また、下線部㉡の限界を、<条件>に従い2つ書きなさい。[4点]

<A>

キム：私は、来年日本で働く予定で、今プライベートレッスンで日本語を習っています。クラスには6人の社員が集まって、来年3月まで一緒に勉強するつもりです。みんな仕事の都合などで授業を欠席することが多く、積み上げ式の教科書を使うと、教科書の内容についていけない人が出るので、教科書なしで毎週私たちが学びたいことを提示し、先生はそれに基づいて授業を行っています。毎週何を学べるか楽しみです。来年の3月まで自分が何を学ぶことになるかははっきりわからないのが少し不安です。

パク：私は、来年日本語の資格試験に挑戦したいと思って、今大学で日本語を習っています。授業で使用する教科書は決まっています。今学期は1課から12課まで勉強するそうです。1,500語ぐらい習って、学習内容は敬語表現まで学ぶことができます。来週の授業では教科書の5課を勉強する予定ですので、しっかり予習をしておきたいと思います。たまには教科書通りではなく、クラスのみんなでトピックを決めて話し合いをしたいときもありますが、なかなかそうはいかないのが残念です。

教師A：シラバスは構成方法によって分類すると、構造シラバス、機能シラバス、場面シラバスなどがありますが、完成時期によって分類すると、(㉠)シラバスと㉡後行シラバス、プロセス・シラバスに分けられます。

教師B：では、キムさんの日本語のクラスを完成時期という観点から見ると、後行シラバスに当たりますね。計画に縛られずに毎回学習者が学びたいことに基づいて教育を行うということで、柔軟性があるシラバスですね。

教師A：そうですね。キムさんのクラスと違って、パクさんのクラスの場合は(㉠)シラバスが使われ、学習者が教科書の内容を調べれば、どの時期でも学習内容や到達目標について知ることができますね。

教師B：指導の便宜上、多くの教育機関で(㉠)シラバスが採用されていると思いますが、実際の教育現場では、ある程度のシラバスを設計しておいて、コースの進み具合に合わせて修正を加えていくプロセス・シラバスが多く採用されているようです。

<条件>

- 一つは学習者の観点から、もう一つは教師の観点から書くこと。また、いずれも学習者のニーズに着目して書くこと。

11. 次の文章を読み、(1)~(4)を最も自然な文章になるように並べかえなさい。また、下線部①~④から漢字の読み方が間違っているものを2つ選び、正しく直しなさい。さらに、(㉠)に入ることばを<条件>に従い書きなさい。[4点]

日本映画を見る外国人のなかには「日本映画には日本精神や美の①真髓(しんすい)が表現されている」と主張する人もいる。もちろん、ある種の日本の美学が映像の構成に反映していることは考えられる。例えば、

- (1) 今の若い世代の日本人が同じように感じるかどうかは分からないし、
- (2) 左右の②均衡(きんこう)を崩す日本映画の画面設計が日本映画の特徴として挙げられる。
- (3) 同じ世代の日本人でも③個々人(こごじん)の感性の違いもあり、どのように感じるかは一般化できないだろう。
- (4) 左か右に事物を寄せ、残りの空間を開けたままにする④構図(こうず)は、日本の中・近世の絵画にも見られ、年配の私には何となくしっくりと感じられる。

その反面、事実をリアルに写し取る映画には、その時代の人々の生活様式や流行していた言葉などを反映する側面が確かにある。その文化について文字で読むより、映画で見た時の方がより⑤具体的(ぐたいてき)に把握できる場合もある。それは日本人でも自分が生まれる前の生活を映画で見ると同じだ。例えば、1930~40年代の映画では、人々の会話で「今日は(㉠)だった」という台詞が時々聞かれる。しかし、1960年代以降はほとんど聞かれなくなり、代わりに「今日は楽しかった」と言い換えられている。

平野共余子『日本の映画史—10のテーマ』より改変

—<条件>—

- 文の流れに合うように、漢字2文字の類義語を用いること。

12. 次の(1)と(2)にある①~③のうち、下線部の用法が正しいものをすべて選びなさい。また、「まで」と共起する動詞の種類と「までに」と共起する動詞の種類を、<条件>に従いそれぞれ書きなさい。[4点]

- (1) ① 昨日まで東京にいた。
 ② 昨日まで風邪は治った。
 ③ 昨日までこの本を読んだ。
- (2) ① 昨日までに東京にいた。
 ② 昨日までに風邪は治った。
 ③ 昨日までにこの本を読んだ。

—<条件>—

- 動詞の種類に関して、「いる、治る、読む」などのように動詞の例を書かないこと。

<수고하셨습니다.>